



絆きずな

平成25年11月
第35号
荒川区立南千住第二中学校
校長 齊藤 進



南千住を大緋鯉が通る

校長 齊藤 進

南千住には古くから伝わる伝承があります。片目の大緋鯉もそのナンちゃん ニーくん 内の一つです。『荒川（隅田川）の主としてよく知られる。小さな南千住二中のゆるキャラ(?) 鯨ほどある体が浮かび上がると、周囲3間（約5.45m）の川の水が赤く染まったように見えたと伝わる。江戸時代、千住大橋架橋の工事の際に打ち込んだ杭に、この緋鯉がたびたびぶつかって倒れそうになった。やむなく網やとび口を使って押さえたところ、とび口で片目をつぶされたまま網を破り、逃げ去った。以後は杭と杭の間の1か所を少し広げ、緋鯉が自由に泳ぐことができるようにしてやったという。』（歩いて学ぼう南千住検定改訂版より）

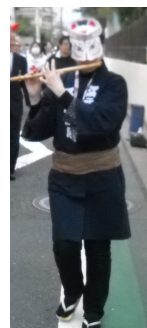


本校では、有志による片目の大緋鯉御輿プロジェクトを立ち上げ、大緋鯉の制作をスタートさせました。御輿プロジェクトは造形作家の天野行雄さんとNPO法人千住すみだがわ理事長の海老江重光さんにご協力をいただきました。全校生徒一人一人がウロコづくりに参加し、ウロコの裏面にはそれぞれが願いや想いを込めたメッセージを書き込みました。約2週間で長さ4.7m、幅1.3m高さ2.0mの巨大な大緋鯉の御輿を完成させました。担ぎ棒は2本でそれぞれの長さは6mあります。

10月22日（火）には、河童の面をかぶった1、2年生の有志によって御輿を千住大橋まで担ぎ出し、隅田川の水を使って目を入れる点睛の儀式を行いました。威勢のよい掛け声によって練り歩くさまは壮観でした。また、きつねの面をかぶった第三瑞光小学校の中込里実先生にも参加していただきました。中込先生の笛の音も風流で、御輿担ぎ出しに花を添える風景となりました。

千住大橋への担ぎ出しに際しては、PTAをはじめ地元瑞光町会の方々、南千住警察のご協力をいただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

なお、大緋鯉の御輿は本校玄関ホールに常時展示しておりますので、保護者、地域の皆様はいつでもご覧ください。

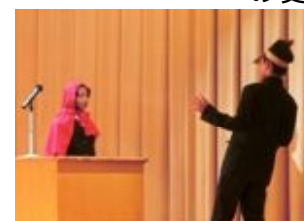


内容の濃い1日 第25回 霜月祭

平成25年10月26日（土）、南千住二中の文化祭「霜月祭」が行われました。年々内容も充実し、名実ともに文化の大イベントになりました。



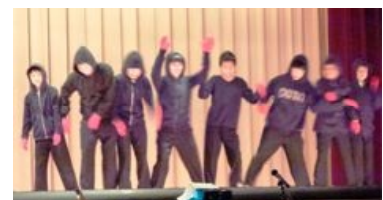
午前中は舞台の部。朗読部の「妖怪のお話」から始まり、「JRC活動報告」、パソコン部の「ナンちゃん・ニーくんの南千住探検」と続きました。そして1年生の地域学習劇「南千住の少女ハマチ」で、南千住の史跡や歴史を紹介してくれました。



つづく国語の意見発表、休憩の後は2年生の劇「南千住の妖怪たち」で、南千住に伝わるたくさんの妖怪に出会いました。英語スピーチにつづき、3年生の劇「神々の活躍パート」では、腹を抱えて笑う場面もありました。午前の部の最後は「天王太鼓」の勇ましい演奏で心まで躍りました。午前の部は、地域や防災をテーマとしたものが多く、全体にそれが貫かれていました。



充実した舞台発表
上から、国語意見発表、英語スピーチ、天王太鼓、吹奏楽



各学年の劇
3年生の「カ
ツ岐
2年生の「わ
み
1年生の「蛇
と
上
大
バ
3
年
・
三
十
三
間
堂
」



午後の部は一転して各クラスの合唱の発表でした。審査の結果、1年生は3組、2年生2組、3年生は1組が最優秀賞に輝きました。しかし、どのクラスも練習を重ねた立派な合唱でした。舞台の部の最後を飾ったのは、恒例になった吹奏楽部の演奏でした。しっとりした曲から乗りの良い曲まで、心に響く演奏で霜月祭を締めくくりました。

生徒一人一人の力が発揮され、時に笑い、時に感動の素晴らしい一日になりました。また、陰の力として、新旧生徒会本部、実行委員会も準備段階から大活躍でした。



展示作品も充実
3年展示コーナー



陰の力として活躍 生徒会本部 実行委員会

大緋鯉に魂入る

巻頭でもご紹介したとおり、本校では、地域学習の一環として、地域に伝わる妖怪伝承について学習しています。その中の一つ「片目の大緋鯉」を“はりこ”で制作し、御輿の形に完成させました。全校生徒が1枚1枚の“うろこ”をつくりました。その制作風景をご紹介します。

～『片目の大緋鯉』制作風景～

【骨組みづくり】



【下地づくり】



【顔がこわい】



【お腹の部分を】



【まずは真鯉に】



【そして緋鯉に】



【思い思いの模様を】



【赤い色に】



【ウロコに願いを】



【緋鯉完成】



【いよいよ隅田川へ】



【隅田川の水で目を入れる】



生徒会役員選挙



平成25年度の生徒会役員選挙が、10月7日(月)に行われました。今回の選挙には、生徒会長に1名、生徒会役員に2年生3名、1年生3名の立候補がありました。いずれも、定数通りだったため、全て信任投票の形になりました。

さて、南千住二中の生徒会役員選挙は本格的です。前の週に「投票引換券」が全生徒に渡されます。投票日当日の1時間目に「立ち会い演説会」が行われ、各候補の公約が述べられます。そして、その後の2時間目の休み時間から放課後4時30分までが投票となります。荒川区選挙管理委員会からお借りした、本物の「記載台」と「投票箱」を用いて、玄関ホールに設置された投票所での投票となります。自分の意志で投票所に行き、自分の意志で投票するというものです。



夏休み明けから選挙活動をしてきた成果もあり、候補者全員が過半数を大きく上回る得票で当選しました。なお、今回の投票率は98.2%という高いものでした。



10月21日(月)の生徒会朝礼で、新生徒会役員および後期専門委員会の認証式と新旧生徒会本部の引き継ぎ式が行われ、3年生から、1・2年生へと生徒会機能の中枢が受け継がれました。旧生徒会役員の皆さん、お疲れさまでした。新生徒会本部の皆さん、これからの活躍を期待しています。

《旧生徒会本部》お疲れさまでした
 生徒会長・3年1組女子、本部役員・3年1組男子2名
 《新生徒会本部》よろしくおねがいします
 生徒会長・2年3組女子(旧部本役員から再選)
 本部役員・2年1組男子(再選)、2年2組女子(再選)、2年3組男子(再選)
 1年1組男子(新任)、1年3組男子(新任)、1年3組女子(新任)

南千住検定 検定講座



今年度も一般の方を含めた南千住検定が間もなく行われます。検定に向けての講座が10月19日(土)に行われました。講座の冒頭には、前回の検定でマイスターを獲得した、一般の方4名と生徒3名にマイスターバッジが授与されました。その後、新検定本を元にした講座が行われました。一般の方も約100名参加され、生徒とともに受講しました。南千住検定は、11月9日(土)に実施されます。



スケアード・ストレート

自転車安全教室

10月9日(水)午後、自転車安全教室が汐入公園で行われました。自転車に関する中学生の事故は年々増加し、被害者にも加害者になるケースも多く報告されています。そこで、南千住警察の協力を得て、スタントマンによる事故の再現を見て学ぶ「スケアード・ストレート」を今年度初めて実施しました。

警察の方のお話をいただいた後、スタントマンによる事故再現が行われました。普段何気なく乗っている自転車にも、ルールとマナーを守らなければ大きな事故につながるということが、実際に目で見てよく分かりました。また、代表の生徒も実際に自転車に乗ったり、再現された事故の目撃者になるなどして、事故の恐ろしさ、加害者になり得る現実を実感しました。改めて自転車の正しい乗り方を考えることができた、良い機会となりました。



スタントマンによる事故再現



実際に自転車に乗って

ボランティアが参加

南千住なかよし祭

10月20日(日)、南千住なかよし祭が行われ、南千住二中の生徒6人と先生方3人がボランティアとして参加しました。このイベントは、毎年南千住地域の町会や地区委員会が主催し、主に小学生を対象に行われているものです。中学生はそのお手伝いで、受付や配布物のお手伝い、さらに「アラ坊」や「アラミィ」の着ぐるみに入るなどしています。

この日は朝からあいにくの大雨で、開催場所がスポーツセンターグラウンドから急きょ南千住ふれあい館に変更になりました。それでもボランティアの6人は臨機応変に対応し、みごとなボランティアぶりでした。来場した小さな子どもたちも大喜びの一日になりました。

ボランティアとして参加してくれたのは、2年生女子2名、1年生女子3名、男子1名の計6名でした。お疲れ様でした。

大勢の小さい子どもたちを前にして



【クイズ】

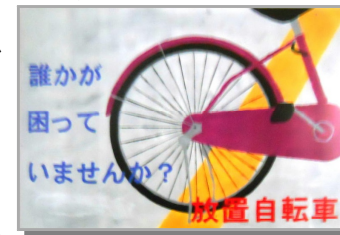
上の写真の赤ウォーリー、青ウォーリーはだれがやっているのでしょうか？ また、アラミィちゃんの中に入っているのは誰でしょうか？ 答は最終ページ。

最優秀賞を受賞した作品

最優秀賞を受賞

「放置自転車ゼロ」ポスターコンクール

荒川区環境課が主催する「放置自転車ゼロ」ポスターコンクールで、2年1組男子の作品がこのコンクールの一番の賞である最優秀賞に、2年3組女子の作品が佳作に入選しました。



部活動の活躍

新人大会、快挙連続！

バレーボール【男子】(荒川五中との合同チーム)荒川区新人大会 **優勝**
第5ブロック(荒川・中央・台東・足立)新人大会 **準優勝(都大会出場)**
【女子】荒川区新人大会 **準優勝**
第5ブロック新人大会 **第3位(都大会出場・南千住二初中出場)**

バスケットボール【男子】荒川区新人大会 **優勝(都大会出場)**

陸上競技部【荒川区民大会 中学生の部】

女子100m **優勝(大会新記録)**、走り幅跳び **第2位** 2年3組女子
男子100m **第2位** 1年1組男子
男子1500m **優勝** 2年2組男子、**第3位** 1年2組男子

南千住マイスターのコーナー

昔江戸時代から明治初期にかけて、南千住には「小塚原処刑場」がありました。江戸から連れてこられた罪人は、小塚原刑場の入り口にあたる「泪橋」まで来ると、身内や親しい人との最後の言葉を交わしたといわれています。しかし、中には身内もなく、誰とも別れを告げられなかった人もあり、「ことだま返し」がその思いがこの地にしみついた変化(へんげ)とされています。現在、橋はなく、下を流れていた「思川」も暗渠(ふたをさされて見えなくなった流れ)となり、その当時のようすを偲ぶものは、明治通りの交差点名だけになってしまいました。しかし、このあたりでは、今でも「泪橋の交差点付近で電車とは違う音が聞こえたら気をつける」と語り継がれています。先日行われた南千住二中の文化祭(霜月祭)では、2年生の劇に、この「ことだま返し」が登場していました。南千住二中の3人の生徒が、地域に語り継がれている妖怪の調査に出かけます。そして、「泪橋」でこの「ことだま返し」に出会い、おじいさんにその言い伝えを教えてもらうという話です。電車の音に紛れて聞こえてくる「ウォーン、ウォーン…」という音に、会場も引き込まれていきました。この劇にはこれまでに紹介した「もどれず狐」「千住大橋の大亀」そして、「片目の大鯉」も登場して、会場を沸かせました。



生徒演じることだま返し

すみだ川妖怪絵巻 その5
『ことだま返し』



協力；
NPO法人
千住すみだ川

【クイズの答】 赤ウォーリー；齊藤校長先生 青ウォーリー；保護者の方 アラミィ；澤田先生